
出掛けれない、僕

雪

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

出掛けれない、僕

【Nコード】

N7479U

【作者名】

雪

【あらすじ】

短歌連作第三弾

今回も短め

秋田駅で
スチュワーデスさん
を見かけた
だからどうにか
なるわけでもなし

改札を
抜けるの わざわざ
サヨナラを
言うためだけの
入場券で

エチケット？
ほしいならやるが
その代わり
爺いは黙って
優先席行け

線路上
カラスの企て
くるみのみ
完全粉碎

カラス涙目

流れてく

風景に人を

走らせる

あそび やつたる？

そうにちがいない

出掛けれない

僕はいつでも

はしってて

ぐるぐる同じ

所を回る

置いてきた

手袋はきつと

弘前の

辺りで僕を

恨んで寝てる

雨宿りの

つもりで乗り込ん

だ 閉まるドア

振り替える僕

遠退く故郷

電車の中
君と一緒に
花火見て
駅につく頃
終わる関係

ただそこに
飛び込むだけな
のにいつも
黄色い線に
助けられてる

二番線
快速列車が
通ります
ドア開きます
閉めます行きます

遮断機に
取り押さえられた
事がある
殺される気が
してやまなかった

各停の

よさが全く
わかってない
あの子の街の
駅に下りれるぞ？

どこまでも
行ける気がした
この列車
四両目は
僕専用の車両

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7479u/>

出掛けれない、僕

2011年10月7日16時36分発行